

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



田尻発

照りつける太陽の下、白球を追う

8月7日、第32回かごぼう少年野球大会が行われ、市内外から参加した24の少年野球チームが、4つのブロックで、それぞれに優勝を競い合いました。



▲逆転に次ぐ逆転で、最後まで目が離せない試合が展開されました

応援席からは、照りつける太陽よりも熱い声援が届けられ、選手たちも、それに応えるようにプレーしていました。

ブロックごとの大会結果	
A	優勝：蒲町スポーツ少年団野球部(仙台市) 2位：沼部イーグルス(田尻地域)
B	優勝：大崎シルバースターズ(古川地域) 2位：上野目ファイターズ(岩出山地域)
C	優勝：古川ジャイアンツ(古川地域) 2位：古川杉の子パワーズ(古川地域)
D	優勝：鹿島台ロイヤルファイターズ(鹿島台地域) 2位：東向陽台スカイラク(富谷町)

三本木発



▲満開のひまわりの前で記念撮影

▶三本木の思い出に、ひまわりアイスを写真に収めています



夏休みに、おおさきの自然を満喫

8月8日～10日、神奈川県横浜市港南区の児童が大崎市を訪れ、三本木地域の児童たちと交流しました。

最初はよそよそしかった児童たちも、一緒にひまわりアイスを食べると緊張がほどけたのか、さっそく打ち解けていました。最終日には、「星空がすごくきれいだった」「沢のぼりで転んだけど、友達が助けてくれた」と、三日間の思い出を発表し、中には「見学した鳴子ダムを自由研究のテーマにします!」と発表してくれた児童もいました。

この交流事業は隔年で開催地を交換しており、来年は、三本木地域の児童が横浜市港南区の文化を体験します。

鹿島台発

歴史を振り返り、未来へとつなぐ

8月5日、昭和61年8月豪雨の記憶を伝えようと、水害フォーラム「水害の記憶を未来へ」が、鹿島台瑞・華・翠交流施設(鎌田記念ホール)で開催されました。

異常気象と防災と題した講演では、講師が「災害から身を守るためには情報を整理する必要がある。普段から、気象庁や市のハザードマップで危険を確認してほしい」と語りかけると、客席では、スマートフォンを取り出している人がいました。



▲ペットボトルの中で雲を作る実験。見上げて想像しながら作っています

いざというときに慌てないよう、自分の身の回りの情報を確認しておきましょう。



▲鎌田記念ホール前に、身長をゆうに超える、当時の到達水位を伝える看板が設置されました

「自分のまちを自分で守りたい」 鹿島台支団で活躍する女性消防団員

大崎消防団鹿島台支団で活動する中居林美紀さんは、市内で5人目、鹿島台地域では初めての女性消防団員です。

▶防火服を身にまとう中居林さん。鹿島台支団初の女性消防団員です。



▲水の出る訓練用の消火器で消火体験。火に見立てた的をめがけて放水します。

大崎市消防団で一緒に活動しましょう!

現在、宮城県内では約450人、大崎市内では5人の女性消防団員が活躍しています。

地域を守りたい、力になりたいという人の入団をお待ちしています。

◎ 防災安全課消防担当 ☎23-5144

これから、一緒に活動する女性団員を増やしていきたいという中居林さん。女性の視点を生かし、熱意と慈愛に満ちた活躍が期待されます。

7月23日には、防災意識を普及するため、鹿島台笑しフェスの消火体験コーナーを担当。初めての消防団活動ということもあり、自身も手順を確認しながら、子どもたちに消火器の使い方を教えていました。

「自分のまちを自分で守りたい」と、今年4月に、自ら志願して鹿島台支団に入団しました。

「スマホマナー」を見直したい 中学校生徒会サミットで討論



▲出し合った意見をポストイットに書き、分類分けします

7月27日、鹿島台瑞・華・翠交流施設(鎌田記念ホール)で、市内の中学校11校による第17回おおさき中学校生徒会サミットが開催されました。今回のサミットは、「スマホマナー」をテーマに、参加した計42人の生徒が5つの分科会に分かれて討論しました。

ホスト校である鹿島台中学校生徒会が、事前に行ったスマートフォンの使用状況に関するアンケート結果を資料として提供。それをたたき台に、生徒からは「文章での会話は、特に言葉づかいに気を付けた



▲ホスト校鹿島台中学校の皆さん。息の合った様子でサミットを進行しました

「時間メリハリをつけて使いたい」など意見が出ました。

サミット終盤では、相手も思いやる気持ちや顔を合わせて会話することの重要性が各分科会から発表されました。スマートフォンは、いまや一つのコミュニケーションツールとして確立しています。しかし、使い次第で嫌な思いをしたり、家族の会話が減少したりと、さまざまな問題が発生しています。皆さんも使用方法について、一度立ち止まって見直してみませんか。



▲アユのつかみどり(内川夏まつり)

29日	27日	25日	20日	18日	16日	15日	14日	6日	5日	3日	2日	2016
●おおさきパートナーシップ協定書調印式	●鳴子温泉郷国民保養温泉地指定記念地域活性化フォーラム	●定住自立圏フォーラム	●おおさき肉まつりin田尻(8月21日)	●平成28年夏巡業・大相撲大崎場所	●台風7号接近に伴い市内10カ所に避難所開設(8月17日)	●鳴子温泉地域成人式平和のつどい	●まつやま夏まつり ●三本木夏まつり ●鹿島台わらじまつり ●大貫かんぼや夏祭り	●有備館まつり・内川夏まつり	●水害フォーラム	●古川まつり(8月4日)	●おおさき花火大会	8月の主な出来事